



石油給湯機付ふろがま 取扱説明書 (保証書付)

CKX-EN482SAF

このたびは本品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

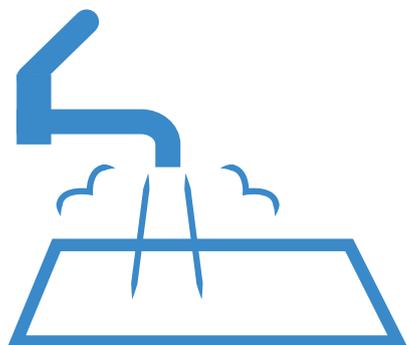
この取扱説明書を読んで正しいご使用方法で
いつまでもご愛用くださいますようお願い申
しあげます。

- まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。
- 保証書（この取扱説明書最終ページ）は必ず販売店名、設置日などの記入を確かめて、大切に保管してください。

この機器は特定保守製品です。
機器に付属の所有者票に必要事項を記入
のうえ、ポストに投函をお願いします。

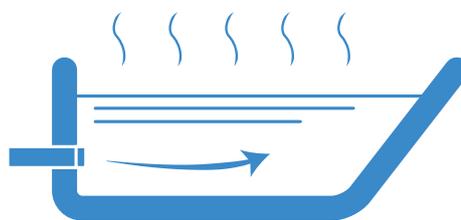
長府工産株式会社

こんな時は・・・



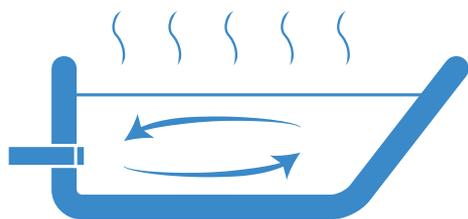
お湯を出したい

→ お湯を使う (14 ページ)



浴槽にお湯をはりたい

→ お風呂を沸かす (16 ページ)



残り湯を沸かしたい

→ 残り湯を沸かす (18 ページ)



入浴中にお湯を足したい

→ 浴槽のお湯をたす (20 ページ)



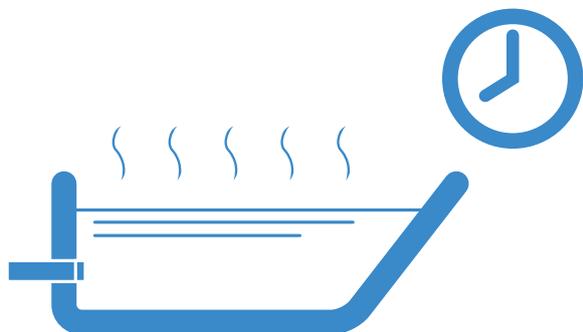
入浴中にお湯を熱くしたい

→ 保温中に少し熱めにしたとき
(17 ページ)



入浴中にお湯をぬるくしたい

→ 浴槽のお湯をぬるくする
(21 ページ)



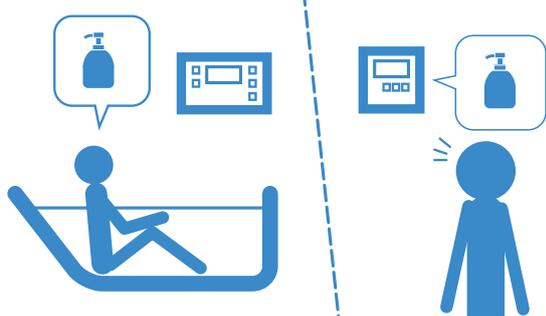
希望の時間にお風呂を沸かしたい

→ 風呂のお湯はりを予約する
(27 ページ)



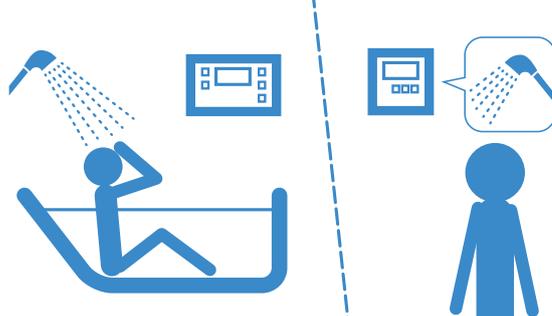
リモコンの音を大きく (小さく) したい

→ リモコンの音量を変更する
(28 ページ)



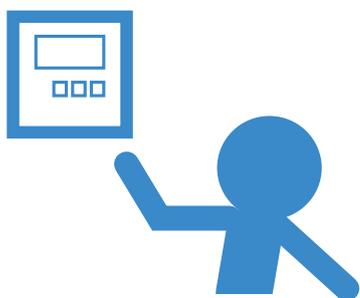
台所と浴室で会話をしたい

→ インターホンで話す
(29 ページ)



台所から浴室の様子を知りたい

→ 浴室の様子を聞く (モニター)
(30 ページ)



子供のいたずらが心配

→ リモコンの操作を制限する
(31 ページ)



風呂配管の汚れが気になる

→ 風呂配管を洗浄する
(32 ページ)

目次

使う前に

特に注意していただきたいこと	1
各部の名称	6
使用前の準備	
燃料	9
給油	10
運転開始前の準備と確認	11

使いかた

使用方法	
お湯を使う	14
お風呂を沸かす（ふろ自動）	16
残り湯を沸かす（おいだき）	18
浴槽のお湯をたす（たし湯）	20
浴槽のお湯をぬるくする（さし水）	21
設定を変更する	22
ふろのお湯はりを予約する	27
リモコンの音量を変更する	28
インターホンで話す	29
浴室の様子を聞く（モニター）	30
リモコンの操作を制限する（チャイルドロック）	31
ふろ配管を洗浄する	32
節約運転にする	33
灯油の使用量を表示する	34
ふろリモコンの表示を消す	35
凍結予防	36
使用上の注意	38
長期間使用しないとき	38

お手入れ・困ったときは

安全装置	39
その他の装置	39
日常の点検、手入れ	40
定期点検	41
法定点検	42
故障・異常の見分け方と処置方法	47
部品交換のしかた	49
仕様	50
アフターサービス	52
据付け	53

特に注意していただきたいこと

- ここに示した事項は △警告 △注意 に区分しています。

△警告 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

△注意 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- マークについては次のような意味があります。

    ……「禁止していること」を表すマークです。
  ……「必ず行なうこと」を表すマークです。
  ……「注意すべきこと」を表すマークです。

△警告 (WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



高温注意

入浴するときや、シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
循環口のまわりは高温になるので注意してください。
やけどのおそれがあります。



改造使用の禁止

改造して使用しないでください。安全装置の無効化など機器の安全性を損なう改造は、火災など思わぬ事故の原因になります。



⚠ 注意 (CAUTION)

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、排気口に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。



可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
火災のおそれがあります。
特に、機器周辺にガソリン・ベンジン・スプレー缶などの引火性危険物は置かないでください。



囲い禁止

機器を波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。



分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理は危険です。



ゴム製送油管の屋外使用禁止

ゴム製送油管は屋外で使用しないでください。
ひび割れを生じて油漏れの原因になります。



ゴム製送油管の点検・交換（ゴム製送油管使用の場合）

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがない場合でも2～3年に1度は新しいものに交換されることをおすすめします。

交換しないと灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。



異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。
「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置してください。



太陽熱温水器との接続禁止

太陽熱温水器との接続はしないでください。
給湯のお湯が、リモコンの設定温度よりも高温になり、やけどのおそれがあります。



⚠ 注意 (CAUTION)

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



電源プラグのお手入れをする

時々電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



屋外では防水コンセントを使用する

屋外で使用するコンセントは必ず防水コンセントを使用してください。
漏電などにより、機器が故障するおそれがあります。



お願い (NOTICE)

雷が発生したら運転スイッチを切り電源プラグを抜く

雷が発生したら、すみやかに運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。

循環口をふさがない

浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。

機器の故障の原因になります。

井戸水、温泉水で使用しない

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使用しないでください。水質によっては機器を腐食させる原因になります。

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤は使用しない

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。

機器が腐食する原因になります。

電気機器の近くに設置しない

機器点火時にテレビ・ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。

電気機器から3 m以上離してください。

機器や配管にたまっていた水は飲用または調理に使用しない

機器や配管に長時間たまった水や朝一番に使用するお湯は飲用や調理に使用しないでください。

雑用水として使用してください。

メインリモコンに水をかけない、蒸気を当てない

メインリモコンの近くに、炊飯器やポットなど蒸気のでるものを置かないでください。故障の原因になります。

ふろリモコンに故意に水をかけない

ふろリモコンは防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

凍結を予防する

暖かい地方でも冬期に急な寒波により凍結することがあります。

必要な措置をして凍結を予防してください。

お願い (NOTICE)

断水時は給湯栓を閉めて、運転スイッチを「切」にする

給湯栓を開けたままだと、給水が復帰したときに水が出っ放しになります。
復帰直後の水は飲用や調理に使用しないでください。

運転スイッチが「切」のまま給湯栓を開かない

運転スイッチが「切」の状態では給湯栓から水を出さないでください。
機器内に冷水が流れると結露が発生し、機器を傷める原因になります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にしてお使いください。

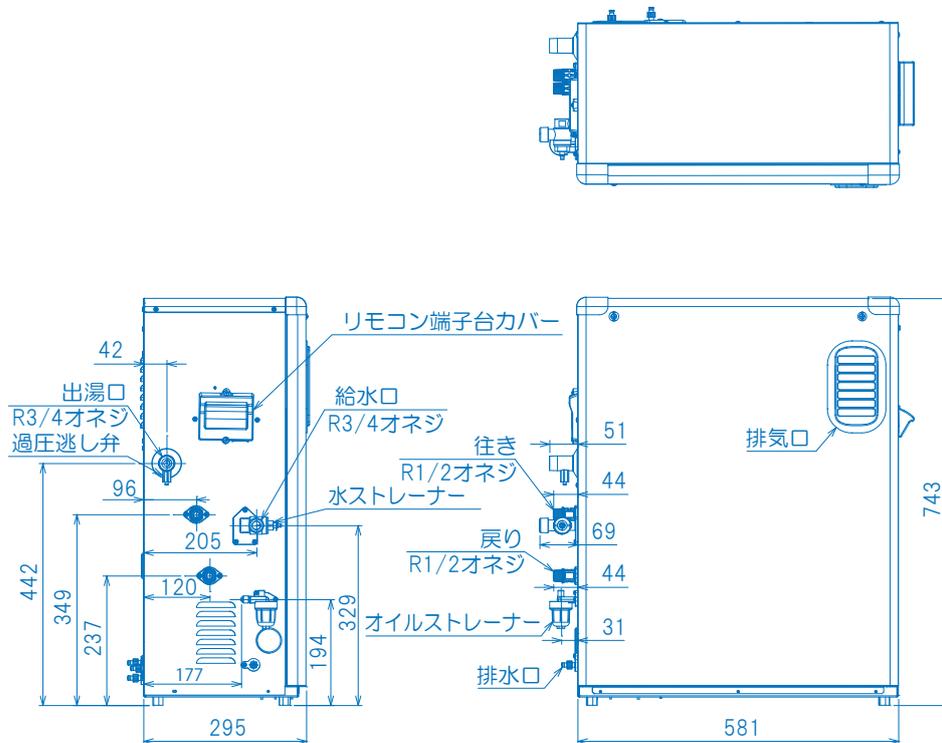
業務用に使用しない

機器は家庭用です。業務用として使用しないでください。
業務用として使用すると機器の寿命が短くなり、保証期間内でも修理は有料になります。

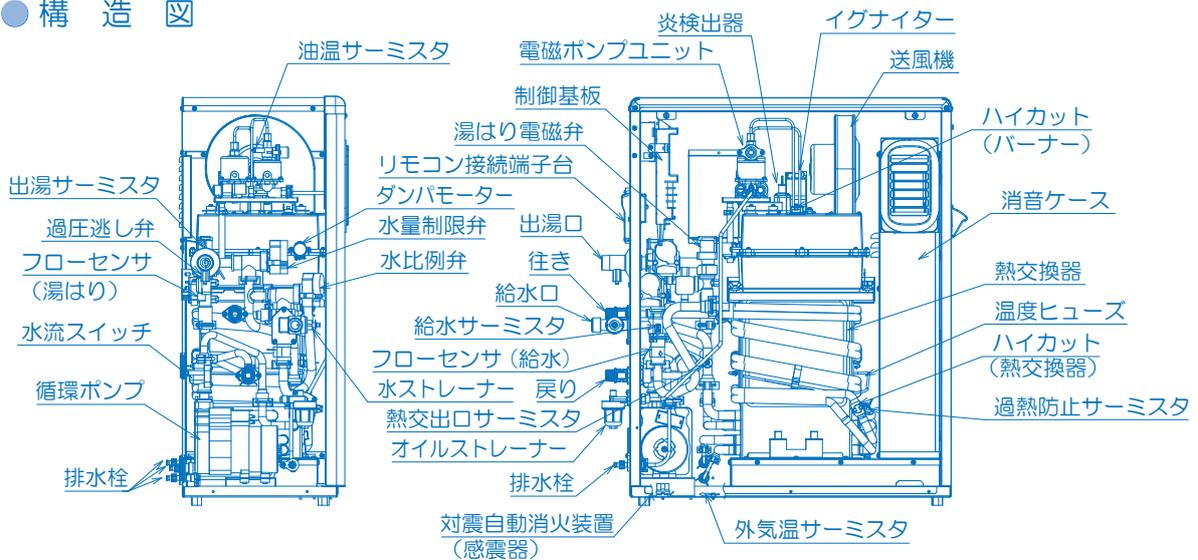
各部の名称

《 CKX-EN482SAF 》

● 外 観 図

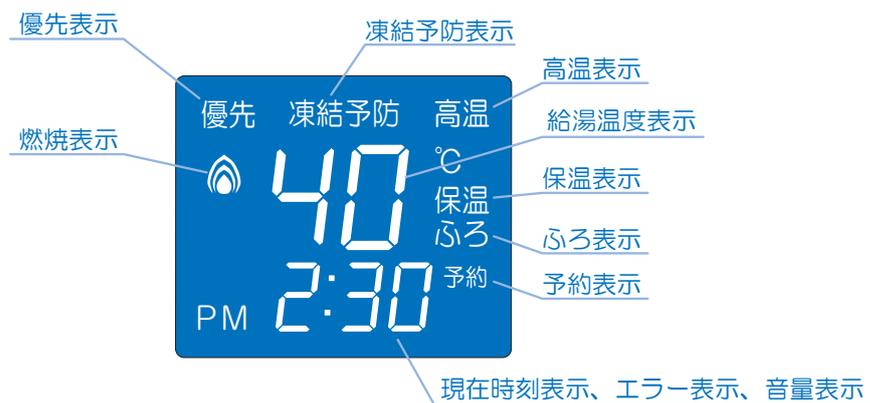
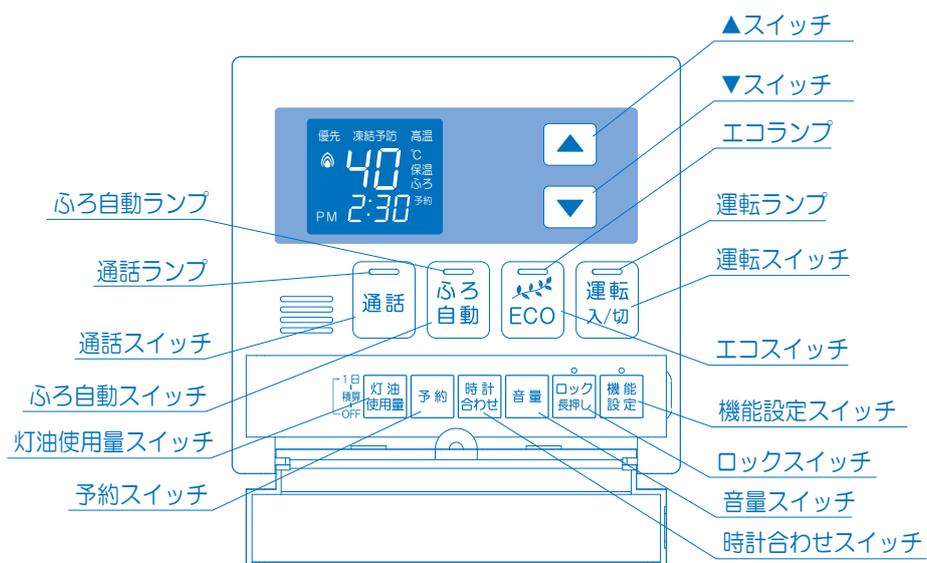


● 構 造 図

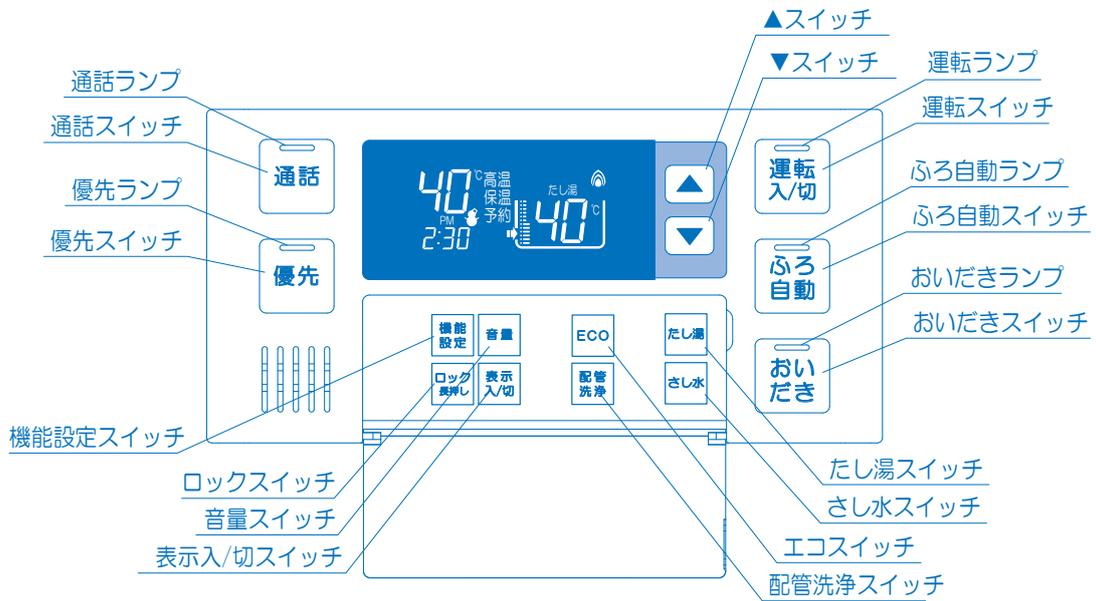


《 操 作 部 》

● メインリモコン M-038DAP



● 風呂リモコン F-038DA



使用前の準備

燃 料

燃料は必ず灯油（J I S 1号）をお使いください。

 警告	
 ガソリン厳禁	ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

 注意	
	変質灯油や不純灯油は絶対に使用しないでください。異常燃焼や故障の原因になります。

不良灯油（変質灯油、不純灯油）は、絶対に使用しないでください。

変質灯油とは

- 古い灯油
- 日光の当たる場所、高温の場所で保管した灯油
- 乳白色のポリ容器や容器のふたをあけて保管した灯油
極度に変質したものは黄色味がかったり、酸っぱい臭いがします。

不純灯油とは

- ガソリン、シンナーが混入したもの → 火災の原因になります。
- 水や灯油以外の油が混入したもの → 故障の原因になります。
(天ぷら油、機械油)
- 助燃剤、水抜き剤などの添加物が混入したもの → 故障の原因になります。
- ドラム缶のさびなどが混入したもの → 燃料フィルターが詰まります。

正しい灯油の保管方法

- 火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた冷暗所で保管してください。
- 紫外線を通しにくい色つきの灯油用ポリタンク（推奨マーク付）を使用してください。
- 屋外油タンクは使用量に見合う容量のタンクを選び、日の当たらない北側などに設置することをお勧めします。

注意



変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、ノズルづまりによる不着火や燃焼時に排気口から黒煙や白煙が出るなど、異常燃焼の原因になります。

給油

給油の際の注意

給油の際に、水・ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水・ゴミなどは燃焼不良や、電磁ポンプの寿命低下などの原因となります。

- (1) 油タンクの給油口ふたをはずし、灯油を市販の給油ポンプで油量計を見ながら給油してください。
- (2) 給油の際は、給油口のフィルターを取去らないでください。
- (3) 給油の際にこぼれた灯油はよくふきとってください。
- (4) 給油口ふたは、必ず元通りに閉めてください。

燃料切れの注意

油タンクの油量を時々点検し、燃料切れになる前に必ず給油してください。据付けて初めて使用するときや、油タンクを空にし給油後初めて使用するときには、送油経路内に空気が入って点火できないことがあります。この場合は、次の要領で送油経路内の空気を抜いてください。

送油経路の空気抜き方法

据付けて初めて使用するときには、送油経路内の空気抜きを行なってください。油タンクの送油バルブを開き、オイルストレーナーの空気抜きねじをゆるめて、灯油が連続して出てきたら、手でねじを締めてください。こぼれた灯油はすぐにふき取ってください。



- 空気抜きは十分に行なってください。空気抜きが不十分ですと、点火しなかったり、燃焼中に消火することがあります。
- もし点火しなかった場合やエラー「1 1 0」が表示される場合は、運転スイッチを入れなおしてください。
- 油タンク（送油経路）は空にしないように注意してください。

運転開始前の準備と確認

機器への給水及び水漏れの確認

- (1) 運転スイッチを入れる前に、給水元栓が開いていることを確認し、給湯栓を開いて水が出ることを確かめてください。水が出ないときは、凍結していないか、排水栓が開いていないかなどを調べ、給湯栓から水が出るように処置してください。
- (2) 配管経路及び浴槽の排水栓や連結管の継手部分、循環管接続部などに水漏れはないか確認してください。

送油経路からの油漏れの確認

油タンクに灯油が十分入っており、送油経路に油漏れがないか確認してください。

電気回路の確認

電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。

この機器は 100V 仕様で、50Hz、60Hz 共通です。

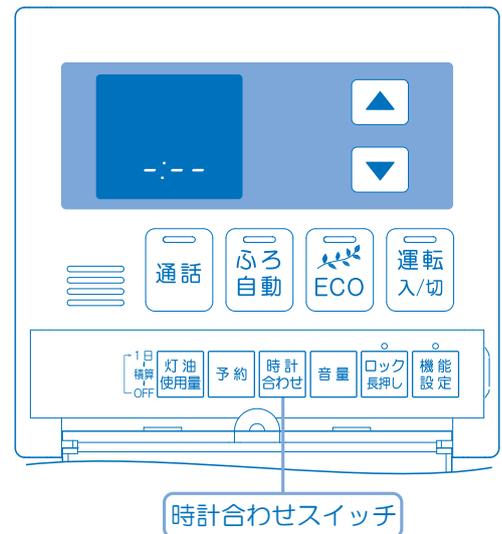
延長コードは使用しないでください。

機器周辺の危険物などに関する注意

機器の周辺にガソリン、シンナーなどの危険物や、紙などの可燃物が置かれていないことを確認してください。

現在時刻の合わせ方

取付けて初めて使用するとき、または停電などで長時間電源が入らない状態が続いたときは、現在時刻がリセットされ時刻表示が「-：-」になります。現在時刻を合わせてください。



1. 時計合わせスイッチ 時計合わせ を押す

時刻表示が点滅します。

2. ▲ ▼ スイッチを押して現在時刻に合わせる

▲ を押すと1分ずつ進みます。
長押しすると30分ずつ進みます。

▼ を押すと1分ずつ戻ります。
長押しすると30分ずつ戻ります。

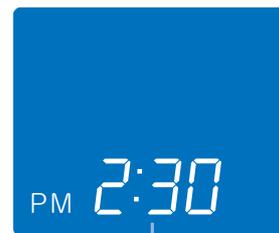


時刻表示が点滅

3. 時計合わせスイッチ 時計合わせ を押す

時刻表示が点灯します。

時計合わせスイッチを押さなくても、10秒以上放置すると現在時刻が確定されて時刻表示が点灯します。



時刻表示が点灯

注意 時計を合わせないと予約運転ができません。
また、灯油使用量が正しく表示できません。

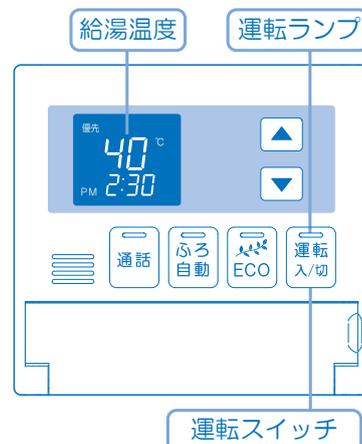
使用方法

お湯を使う

メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも操作できます。

1. 運転スイッチ を「入」にする

運転ランプが点灯し、給湯温度を表示します。



2. スイッチで給湯温度を設定する

 を押すと温度が上がります。

 を押すと温度が下がります。

リモコンの優先表示または優先ランプを確認してください。
優先表示または優先ランプが点灯していないリモコンでは給湯温度の変更はできません。(優先についてP15参照)
給湯温度は35～50、55、60℃に設定できます。
55℃以上に設定したときは高温表示が点灯します。



注意 給湯温度は、配管の長さや気温により変わります。
めやすとしてお使いください。

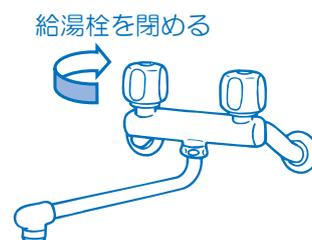
3. 給湯栓を開く

自動的にバーナーが点火し、燃焼表示が点灯します。お湯の使用量や混ぜる水の量などにより、お湯の温度が変化することがあります。



4. 給湯栓を閉める

自動的にバーナーが停止し、燃焼表示が消灯します。
お出かけ、おやすみになるときなどは、運転スイッチを「切」にして、運転ランプの消灯を確認してください。



注意

- お湯を使うときは、リモコンでお湯の温度を確認してください。
- 入浴やシャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
- シャワーや給湯を使用中は使用者以外の方が給湯温度を変更しないでください。突然、熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンの温度設定を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。このようなときは給湯温度を高い温度に設定してください。
- ふろリモコンに水を掛けしないでください。故障の原因になります。
- ふろ動作（お湯はり、たし湯、さし水）中は給湯温度の変更はできません。

**■給湯量と給湯温度のめやす（熱交換器保護のため、最大通水量は 19L/min です）**

給水温度 給湯温度	25℃（夏）	15℃（春・秋）	5℃（冬）
40℃	19 L/min	19 L/min	19 L/min
50℃	19 L/min	19 L/min	15 L/min
60℃	19 L/min	15 L/min	12 L/min

（表は計算上の値です）

【優先について】

お湯を使用しているときに、ほかの場所で給湯温度を変えると、急に熱湯になり、やけどをするおそれがあります。そのため給湯温度の変更は、1つのリモコンでしかできないようにしてあります。給湯温度の変更ができることを「優先」と呼びます。ふろリモコンが「優先」のときは、ふろリモコンの優先ランプが点灯します。メインリモコンが「優先」の時は優先表示が点灯します。（サブリモコンを使用している場合は、メインリモコンと同時にサブリモコンも優先になります）



スイッチを入れたリモコンが「優先」になります。

ふろリモコンの  スイッチで「優先」を切替えることができます。

•メインリモコンを優先にする



スイッチを入れなおして優先を点灯させます。

•ふろリモコンを優先にする



スイッチを押して優先ランプを点灯させます。

※ふろ自動中は、自動的にふろリモコンが優先になり、給湯温度の変更はできません。

お風呂を沸かす（ふろ自動）

メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも操作できます。

1. 浴槽の排水栓を閉める

2. 運転スイッチ を「入」にする

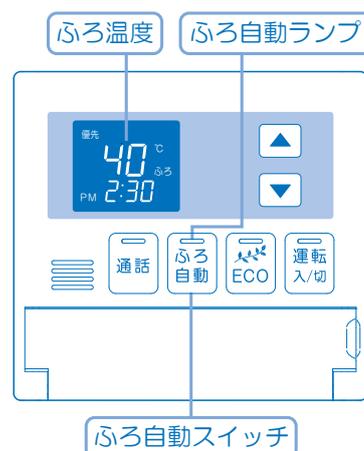
ふろ温度、お湯はり量、保温時間の設定は P22 ~ 23 を参照してください。

3. ふろ自動スイッチ を押す

ふろ自動ランプが点滅してお湯はりを始めます。
設定量までお湯はりした後、おいだきをします。
お湯はり中は、ふろ温度、お湯はり量など設定値の変更ができません。

4. ふろ温度まで沸き上がるとメロディでお知らせ

設定したふろ温度まで沸き上がると、保温運転に入り、保温表示が点灯します。
保温時間を0に設定している場合は、保温運転をしません。



ふろリモコン表示部



お湯はり中点滅

ふろリモコン表示部



保温表示

- 注意**
- お湯はり中は給湯温度が自動的にふろ温度より低い温度になります。
 - ふろ自動運転を途中で止めたいときは、ふろ自動スイッチを押してください。

ふろリモコンでふろ温度を変更する

ふろリモコンの   スイッチで給湯温度とふろ温度の変更ができます。

- 優先ランプが点灯しているとき・・・給湯温度の変更
- 優先ランプが消えているとき・・・ふろ温度の変更

注意 シャワーを使用しているときは、ふろリモコンを優先にしてください。
メインリモコンで給湯温度を変更されるおそれがあります。

保温中に少し熱めをしたいとき

おいだきスイッチ  を押してください。ふろ温度より 2℃ 高くおいだきします。

おいだきを途中で止めたいときは、おいだきスイッチ  を押してください。

おいだき中は、リモコンのふろ温度表示には 2℃ 高い温度が表示されますが、おいだき終了後はもとのふろ温度に変わります。

注意 おいだき終了直後は熱交換器保護のため、しばらく循環ポンプが運転します。

注意 保温運転中は約 20 分間隔でふろポンプが作動し、ふろの温度が冷めている場合は自動的にふろのおいだきを行いません。その際、循環口から熱いお湯が出ますので注意してください。



残り湯を沸かす（おいだき）

ふろリモコンで操作します。

1. 残り湯が循環口より上にあることを確かめる

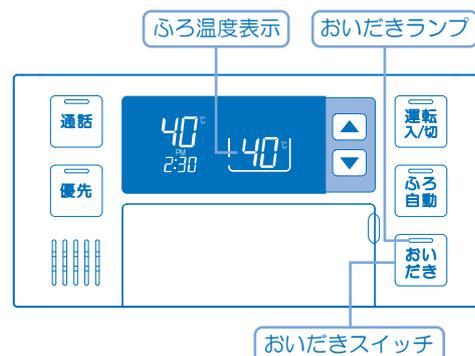
残り湯が浴槽の循環口より上までであることを確認してください。

残り湯が浴槽の循環口より下の場合は、ふろ自動または、たし湯（P20 参照）でお湯はりしてください。



2. 運転スイッチ を「入」にする

ふろ温度は優先ランプ消灯時に   で変更できます。保温時間の設定は P22 ~ 23 を参照してください。



3. おいだきスイッチ を押す

おいだきランプが点灯して、設定ふろ温度までおいだきをします。

ふろリモコン表示部



4. ふろ温度まで沸き上がるとメロディでお知らせ

設定したふろ温度まで沸き上がると、保温運転に入り、保温表示が点灯します。

保温時間を0に設定している場合は、保温運転をしません。

ふろリモコン表示部



- 注意**
- 残り湯が循環口より下にあるときは、おいだきができません。
このときに、おいだきスイッチを押すと、「おふろの様子を調べてください」と音声
が流れて、おいだきを中止します。
循環口の上までお湯をはるか、ふろ自動スイッチで沸かしなおしてください。
 - おいだきを途中で止めたいときは、おいだきスイッチを押してください。

残り湯量によるお風呂の沸かしかた

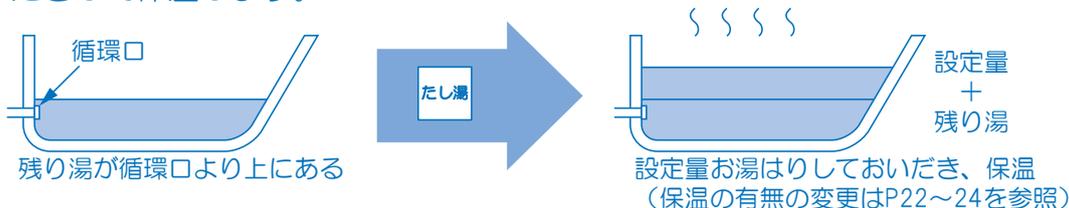
浴槽の残り湯の量によって、沸かし直しの方法が変わります。

残り湯が浴槽の循環口より上にあるとき

ふろ自動スイッチまたは、ふろリモコンのおいだしスイッチを押してください。
設定ふろ温度までおいだきして保温します。

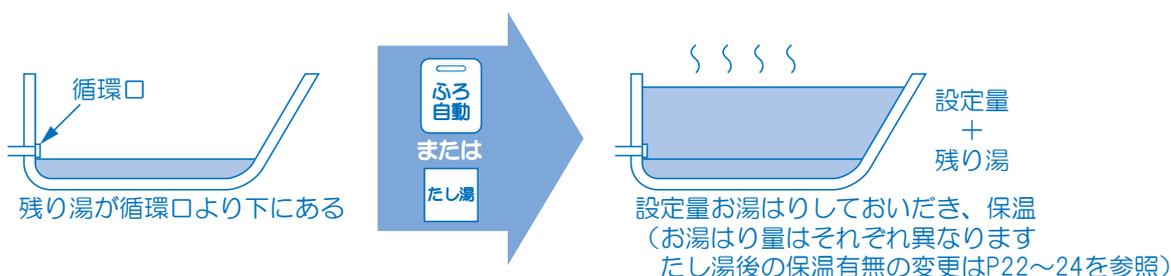


ふろリモコンのたし湯スイッチを押すと、設定された湯量分お湯はりをした後、設定ふろ温度までおいだきして保温します。



残り湯が浴槽の循環口より下にあるとき

ふろ自動スイッチまたは、ふろリモコンのたし湯スイッチを押してください。
設定された湯量分お湯はりをした後、設定ふろ温度までおいだきして保温します。(残り湯の分だけ沸きあがりの湯量が増えます)



注意

残り湯が循環口より下にあるときに、水位を上げないまま、おいだきを2回くり返すとエラー「632」が表示されます。そのときは循環口の上までお湯があるかを確認して運転スイッチを入れなおしてください。



浴槽にお湯をたす（たし湯）

ふろリモコンで操作します。

1. 運転スイッチ を「入」にする

運転ランプが点灯します。

2. たし湯スイッチ を押す

たし湯量が点滅します。

3. スイッチで、たし湯量を変更する

 を押すと 10 L 増える

 を押すと 10 L 減る



たし湯量の変更は 10 L 単位で、10 L ~ 300 L に変更できます。

4. たし湯スイッチ を押すか 10 秒放置する

浴槽にたし湯します。

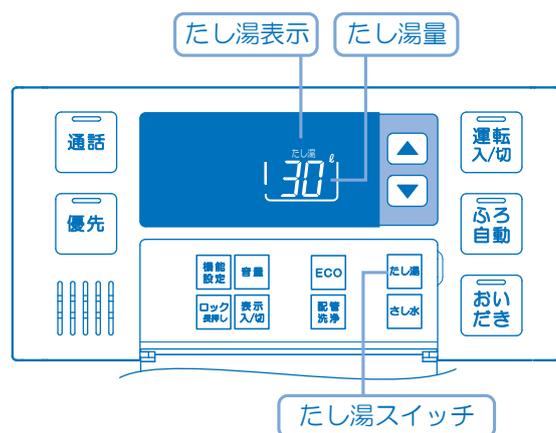
たし湯が終わると、おいだきランプが点灯し、ふろ温度までおいだきをします。おいだきが終わると、ふろ自動ランプと保温表示が点灯し、保温を開始します。たし湯後の保温運転の有無は変更できます。(P22 ~ 24 参照)

途中でたし湯を止めたいときは、たし湯スイッチ  を押してください。

保温を止めたいときは、ふろ自動スイッチ  を押してください。

注意 たし湯中は、給湯温度の変更はできません。

たし湯中に給湯を使うと、ふろ温度より低い温度のお湯が出ます。



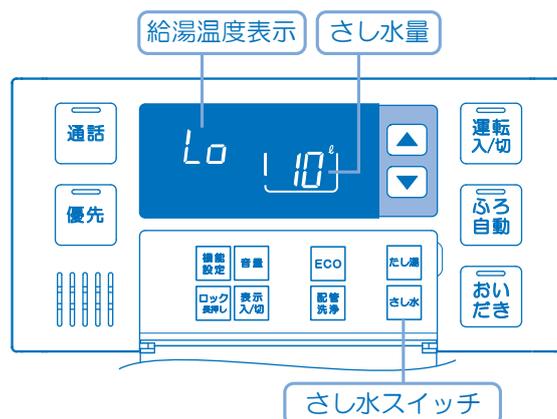
浴槽のお湯をぬるくする（さし水）

ふろリモコンで操作します。

1. 運転スイッチ  を「入」にする

2. さし水スイッチ  を押す

給湯温度表示にLと表示して、さし水量が点滅します。



3.   スイッチで、さし水量を変更する

 を押すと 10 L 増える

 を押すと 10 L 減る



さし水量の変更は 10 L 単位で、10 L ~ 300 L に変更できます。

4. さし水スイッチ  を押すか 10 秒放置する

浴槽にさし水します。

途中でさし水を止めたいときは、さし水スイッチ  を押してください。

注意 さし水中は、給湯温度の変更はできません。
さし水中に給湯を使うと、水が出ます。

設定を変更する

ふろ温度、お湯はり量、保温時間などの変更ができます。
メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも操作できます。

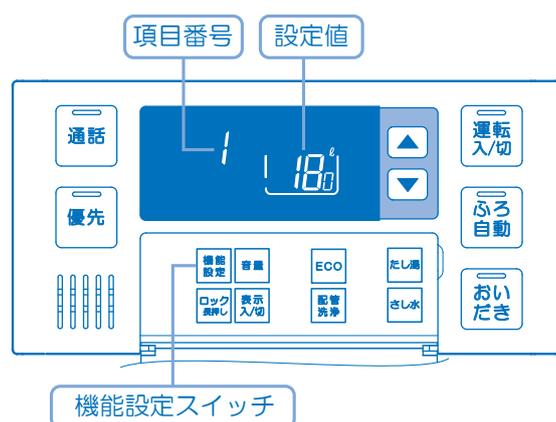
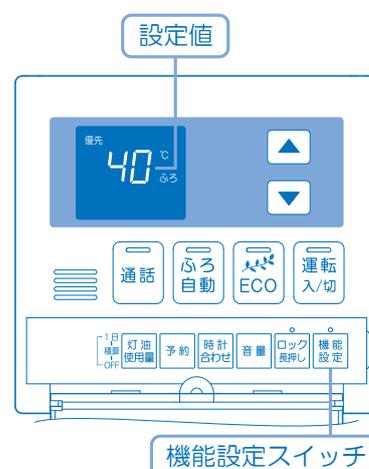
1. 運転スイッチ を「入」にする

運転ランプが点灯します。

2. 機能設定スイッチ を押す

機能設定スイッチを押すごとに設定項目が変わります。

項目No.	メイン	ふろ	設定内容
0	○	—	ふろ温度 (°C)
1	○	○	お湯はり量 (リットル)
2	○	○	保温時間 (時間)
3	○	○	時計表示の有無
4	○	○	ふろ凍結予防運転の有無
5	○	○	たし湯後の保温運転の有無
6	—	○	時刻設定
7	○	○	音声ガイドの有無
8	○	○	最大湯はり量 (リットル)
9	○	○	給湯最高温度 (°C)
10	○	○	ふろ最高温度 (°C)
11	○	○	運転切り忘れ防止機能の有無
12	○	○	通話使用の有無



3. スイッチで値を変更する

設定内容の詳細については P23 ~ 26 を参照してください。

4. 機能設定スイッチ を押す

変更が確定し、次の設定内容が点滅します。

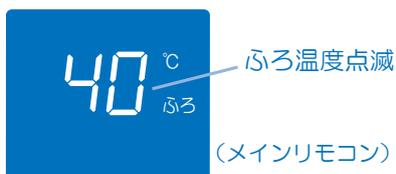
通話設定の次は設定を終了します。

設定の途中でも、機能設定スイッチを長押しするか、10秒以上放置すると終了します。

注意 ふろ自動（お湯はり、おいだき）中は、機能設定スイッチが使えません。

《各設定内容の詳細》

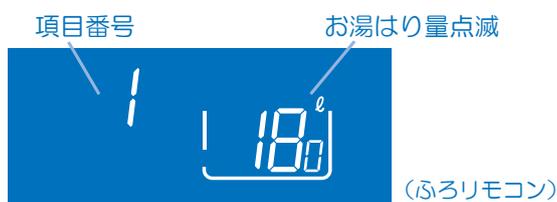
【項目0】 風呂温度の変更 (メインリモコンのみ)



風呂リモコンで風呂温度を変更する場合は、優先ランプ消灯時に▲、▼スイッチを使用します。詳しくは 16 ページを参照してください。

風呂温度は 36℃～ 48℃に設定できます。
45℃から 46℃に上げるときは ▲スイッチを 2 秒以上押してください。
使い始めは 40℃に設定しています。
風呂温度は、配管の長さや気温により変わります。めやすとしてお使いください。

【項目1】 お湯はり量の変更



お湯はり量を設定します。
50 L～最大湯はり量設定【項目8】で設定した値 (P25 参照) の範囲で設定できます。
使い始めは 180 L に設定しています。
お湯はり量が少ないと、風呂を沸かすときに浴槽の循環口までお湯はりできず、エラー「032」が出る場合があります。

【項目2】 保温時間の変更



保温時間は 0～ 12 時間、24 時間の 1 時間単位で設定できます。
0 は保温なし、24 は連続保温になります。
使い始めは 4 時間に設定しています。

【項目3】 時計表示設定



運転スイッチ「切」時の時計表示有無を設定します。
ON (表示は **on**) : 時計表示をする。
OFF (表示は **of**) : 時計表示をしない。
使い始めは ON に設定しています。

《各設定内容の詳細》

【項目4】 風呂凍結予防運転設定



風呂凍結予防運転
設定点滅

(メインリモコン)



(ふるリモコン)

風呂凍結予防運転の有無を設定します。
ON (表示は **on**) : 風呂凍結予防運転をする。
OFF (表示は **of**) : 風呂凍結予防運転をしない。
使い始めは ON に設定しています。

【項目5】 たし湯後の保温運転設定



保温設定点滅

(メインリモコン)



(ふるリモコン)

たし湯後の保温運転の有無を設定します。
ON (表示は **on**) : 保温運転をする。
OFF (表示は **of**) : 保温運転をしない。
使い始めは ON に設定しています。

【項目6】 時刻設定 (ふるリモコンのみ)

メインリモコンで時刻設定をする場合は、時計合わせスイッチを使用します。詳しくは12ページを参照してください。



(ふるリモコン)

ふるリモコンで現在時刻を設定します。
▲ を押すと1分ずつ進みます。長押しすると30分ずつ進みます。
▼ を押すと1分ずつ戻ります。長押しすると30分ずつ戻ります。
設定した時刻はメインリモコンにも反映されます。

【項目7】 音声ガイドの設定



音声ガイド設定点滅

(メインリモコン)



(ふるリモコン)

音声ガイドの有無を設定します。
ON (表示は **on**) : 音声ガイドを使う。
OFF (表示は **of**) : 音声ガイドを消す。
使い始めは ON に設定しています。

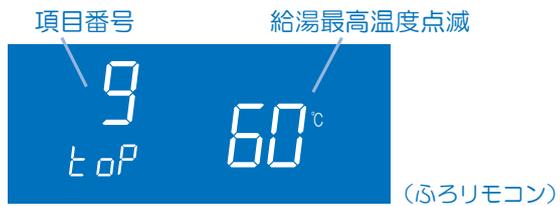
《各設定内容の詳細》

【項目8】 最大湯はり量設定



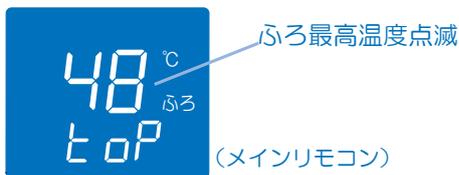
お湯はりの最大量を設定します。
100 L ~ 500 L に変更できます。
使い始めは 300 L に設定しています。

【項目9】 給湯最高温度設定



給湯温度の最大値を設定します。
最大値は 45 ~ 50、55、60℃ に変更できます。
使い始めは 60℃ に設定しています。

【項目10】 ふろ最高温度設定



ふろ温度の最大値を設定します。
最大値は 36 ~ 48℃ に変更できます。
使い始めは 48℃ に設定しています。

【項目11】 運転切り忘れ防止機能設定



運転切り忘れ防止機能の有無を設定します。
ON (表示は **on**) : 運転切り忘れ防止機能を使う。
OFF (表示は **of**) : 運転切り忘れ防止機能を使わない。
使い始めは OFF に設定しています。

【運転切り忘れ防止機能】

運転スイッチ「入」の状態でも2時間以上リモコン操作も、お湯の使用もない場合に運転スイッチを「切」にします。

《各設定内容の詳細》

【項目 12】 通話機能設定



リモコン間の通話機能を設定します。
ON（表示は **on**）：通話機能を使用する。
OFF（表示は **of**）：通話機能を使用しない。
使い始めは ON に設定しています。

ふろのお湯はりを予約する

希望の時間におふろが沸きあがります。
メインリモコンで操作します。

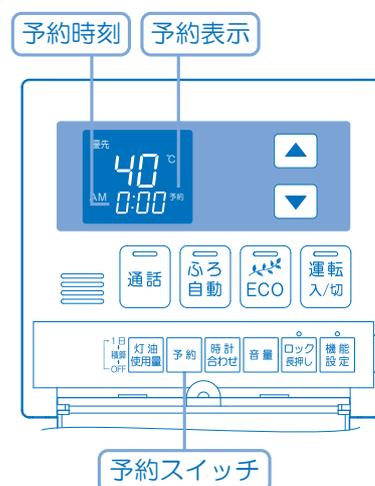
1. 運転スイッチ を「入」にする

運転ランプが点灯します。

2. 浴槽の排水栓を閉める

3. 予約スイッチ を押す

予約表示が点灯し、前回設定した予約時刻が点滅します。
使い始めは「AM 0 : 00」が表示されます。



4. 表示した予約時刻を確認し、変更があれば スイッチで予約時刻を変更する

 を押すと 10 分進みます。押し続けると連続して進みます。

 を押すと 10 分戻ります。押し続けると連続して戻ります。

5. 予約スイッチ を押すか、10 秒放置する

予約表示が点灯し、予約運転モードになります。

ふろ自動が始まる前に予約をやめたいとき

予約スイッチを押して、予約表示を消してください。

ふろ自動が始まったあとで、ふろ自動をやめたいとき

ふろ自動スイッチを押して、ふろ自動運転を停止してください。

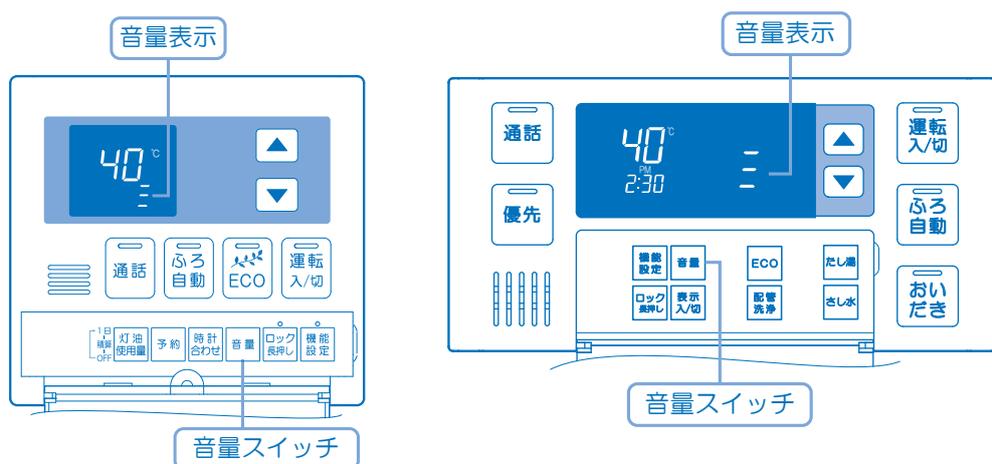
- 注意**
- 時刻設定がされていないと予約ができません。
 - 予約時刻までの時間がお湯はり時間より短い場合は、沸きあがり予約時刻より遅くなります。
 - ふろ動作中に予約した場合は翌日の予約になります。
 - 予約中にふろ自動スイッチを押すと予約は解除されます。
 - 気温や配管の長さにより沸きあがり時間が変わります。予約時刻はめやすとしてお使いください。

リモコンの音量を変更する

リモコンの音量を設定します。それぞれのリモコンで設定できます。

1. 運転スイッチ  を「入」にする
運転ランプが点灯します。

2. 音量スイッチ  を押す
音量表示が点灯します。



3.   スイッチで設定する

大、標準、小、消音※の4段階に変更できます。



4. 音量スイッチ  を押す

音量が確定となり、音量設定モードが終了します。

※消音に設定した場合でもエラー発生時の警報音は鳴ります。

インターホンで話す

リモコン間で通話ができます。

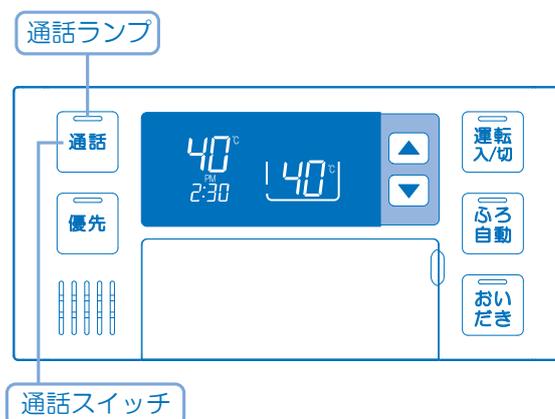
メインリモコン、ふろリモコンどちらでも操作できます。

通話をする

通話スイッチ  を押す

通話ランプが点灯し、話すと相手のリモコンで聞こえます。

1分後に自動的に通話を終了します。

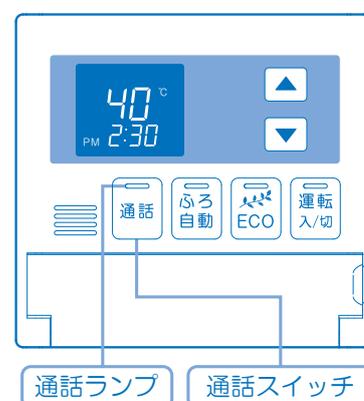


通話に対して返事をする

通話を受けているリモコンで

通話スイッチ  を押す

通話ランプが点灯し、通話の方向が切り替わり、返事ができます。



通話を終わらせる

通話をしているリモコンで

通話スイッチ  を押す

通話が終了し、通話ランプが消えます。

スイッチを押さなくても1分たつと自動的に通話を終了します。

- 通話は一方通行です。通話ランプが点灯しているときに話せます。
- 通話を受けた側は、通話ランプが点滅します。
- 通話を受けた側で通話スイッチを押すと、通話方向が切り替わり、話せます。
- 通話を受けた側で音量スイッチを押すと   スイッチで通話の音量を変更できます。通話の音量は小、標準、大の3段階に変更できます。

浴室の様子を聞く（モニター）

浴室の様子（音）をメインリモコンまたはサブリモコン（別売）で聞くことができます。
メインリモコンまたはサブリモコン（別売）で操作します。

モニターをする

通話スイッチ  を2秒以上押す

通話ランプが点滅して、スピーカーから浴室の様子（音）が聞こえます。ふろリモコンは通話ランプが点灯します。

約30分後に自動的にモニターを終了します。

モニター中に音量スイッチを押すと、  スイッチで音量を大、標準、小の3段階に変更できます。



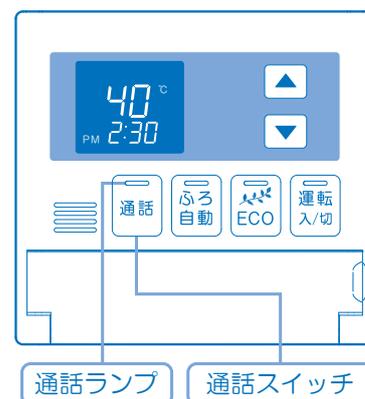
音量：大



音量：標準



音量：小



モニターを途中で止める

通話スイッチ  を押す

通話ランプが消灯して、モニターを終了します。

モニターの終了は、ふろリモコンでも操作できます。

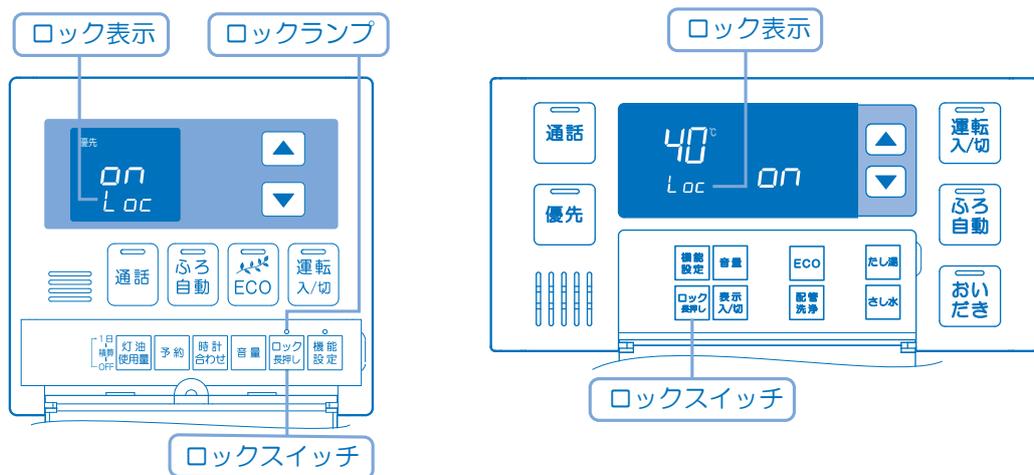
リモコンの操作を制限する（チャイルドロック）

子供によるリモコンの誤操作を防ぐ為、運転スイッチと通話スイッチ以外の操作を制限します。メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも操作できます。

チャイルドロックをする

ロックスイッチ  を2秒以上押す

ロックランプが点灯、ロック表示が数秒間点滅して、運転スイッチと通話スイッチ以外のリモコン操作を制限します。



チャイルドロック中に運転スイッチと通話スイッチ、ロックスイッチ以外のスイッチを押すと、エラー音が出てロック表示が数秒間点滅します。

チャイルドロックを解除する

ロックスイッチ  を2秒以上押す

ロックランプが消灯、ロック表示が数秒間点灯します。

ふろ配管を洗浄する

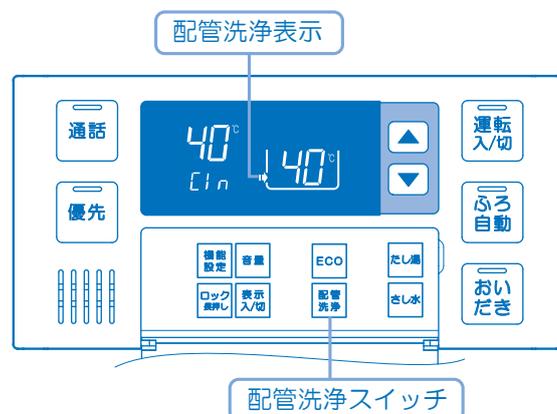
機器から一定量の水を流して、ふろ配管内の残り湯を流し出します。
ふろリモコンで操作します。

1. 浴槽の残り湯を排水する

浴槽に残り湯があると配管洗浄できません。

2. 配管洗浄スイッチ **配管洗浄** を押す

配管洗浄表示が点灯して配管洗浄が始まります。



3. 浴槽の循環口から一定量の水を流すと自動的に配管洗浄が終了

配管洗浄表示が消灯して、元の表示に戻ります。

配管洗浄を途中でやめるとき

配管洗浄スイッチ **配管洗浄** を押す

配管洗浄表示が消灯して、元の表示に戻ります。

注意 配管洗浄中に給湯を使用すると配管洗浄を終了します。

節約運転にする

給湯量を制限して灯油を節約します。

メインリモコン、ふろリモコンどちらでも操作できます。

エコ設定にする

1. 運転スイッチ  を「入」にする

運転ランプが点灯します。

2. エコスイッチ  を押す

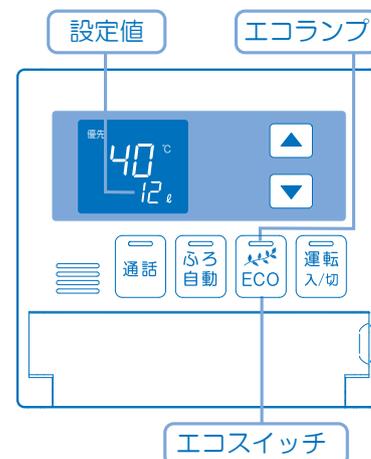
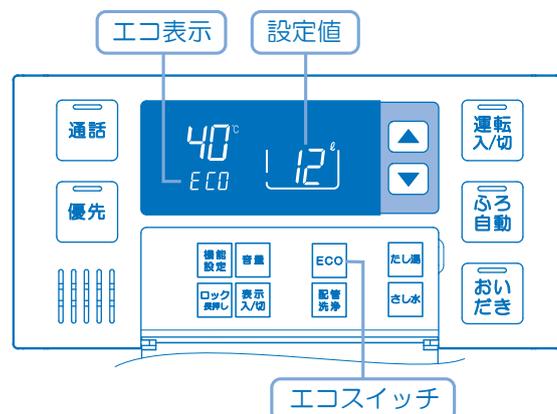
メインリモコンの時刻表示部、ふろリモコンのふろ温度表示部に設定値が点滅表示します。

3.   スイッチで、設定値を変更する

8 L、10 L、12 Lに変更できます。

4. エコスイッチ  を押すか、5秒放置する

設定値が確定し、エコランプが点灯します。



※エコスイッチで12 Lに設定すると、1分間にお湯の出る量が12リットルに制限されます。

注意 お湯はり、たし湯中は給湯量の制限をしません。

エコ設定をやめる

- エコスイッチ  を押す

エコランプが消灯します。

灯油の使用量を表示する

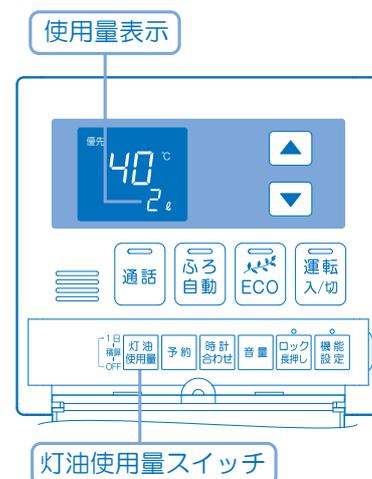
使用した灯油のめやすの量を時刻表示部に表示します。
メインリモコンで操作します。

灯油使用量を表示する

灯油使用量スイッチ **灯油使用量** を押す

スイッチを押すごとに表示内容が変わります。

→ 時刻 → 1日の灯油使用量 → 積算灯油使用量



灯油使用量をリセットする

リセットしたい項目を表示して

灯油使用量スイッチ **灯油使用量** を5秒以上押す

灯油使用量が0になります。

- 注意**
- 灯油の使用量はめやすとしてお使いください。
 - 1,999 リットルを超えると自動的に0に戻ります。
 - 1日の灯油使用量はAM0:00にリセットされます。
 - 現在時刻を設定していない場合は、1日の灯油使用量は0と表示されます。

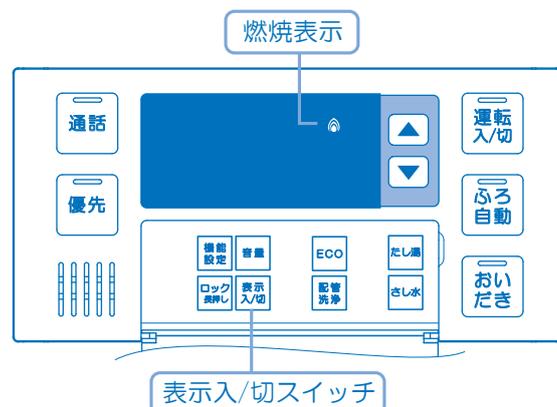
ふろリモコンの表示を消す

ふろリモコンの表示を消灯します。

ふろリモコンの表示を消す

表示入 / 切スイッチ **表示入/切** を押す

リモコンの表示部が消灯します。



ふろリモコンの表示を戻す

表示入 / 切スイッチ **表示入/切** を押す、または他のスイッチ操作をする

リモコンの表示部が点灯します。

注意 表示を「切」にしても、燃焼中は燃焼表示が点灯します。

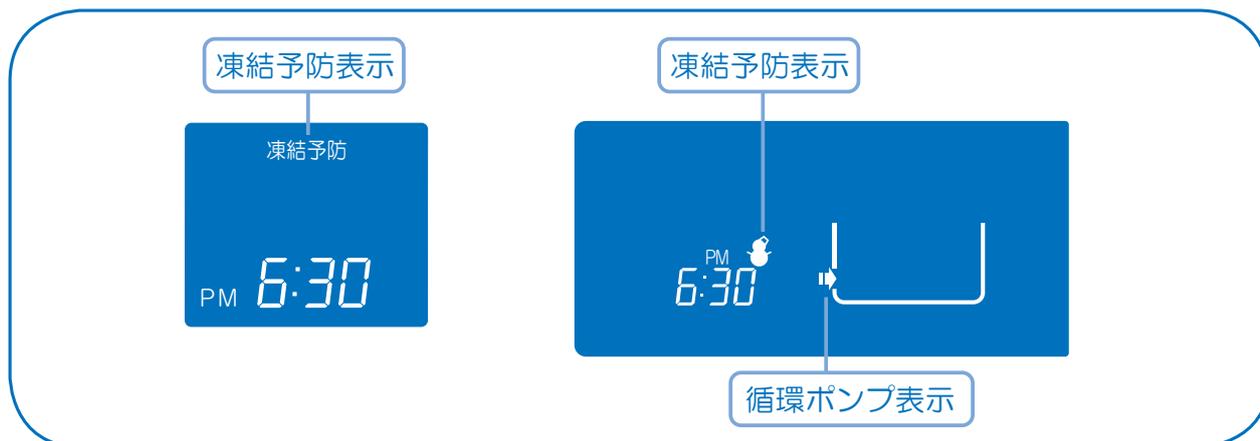
凍結予防

凍結のおそれがあるときは、下記のいずれかの方法で凍結予防を行なってください。

凍結予防運転による方法（電源プラグは抜かないでください）

外気温度が下がると凍結予防運転表示が点灯し、機器内部をヒーターであたためます。また、ふろ配管の水の凍結予防のため、自動的に循環ポンプが作動します。このため凍結のおそれがあるときには『浴槽の残り湯を貯めたまま』にしておいてください。また、水位が循環口より上にある状態にしておいてください。

運転スイッチの入/切にかかわらず凍結予防運転を行ないます。



注意

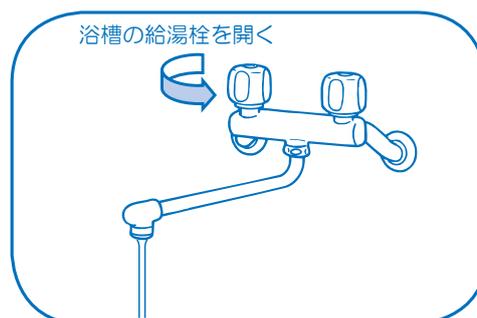


- 電源プラグは絶対に抜かないでください。
- 外部配管内の水の凍結予防はできませんので、凍結しないよう断熱材または電気ヒーターで十分保温処置をしてください。
- 外部配管内の水が凍結するおそれのある場合は、「通水による方法」を行なってください。
- 「設定を変更する」(P22) で「ふろ凍結予防運転をしない」に設定した場合は、ふろ配管の凍結予防運転はしません。
- 浴槽の循環口まで水がない場合は、ふろ配管の凍結予防運転を中止します。
- 停電時は効果がありません。水抜きによる方法で凍結を予防してください。

通水による方法（断水時には効果がありません）

運転を停止してください。給湯栓を開いて、浴槽に少量の水（1分間に400cc程度、ただし特に寒い日には多めに）を流し放しにしておいてください。たまった水は雑用水としてご利用ください。

お願い ふろ配管内の水の凍結予防はできませんので、凍結しないよう断熱材で保温してください。

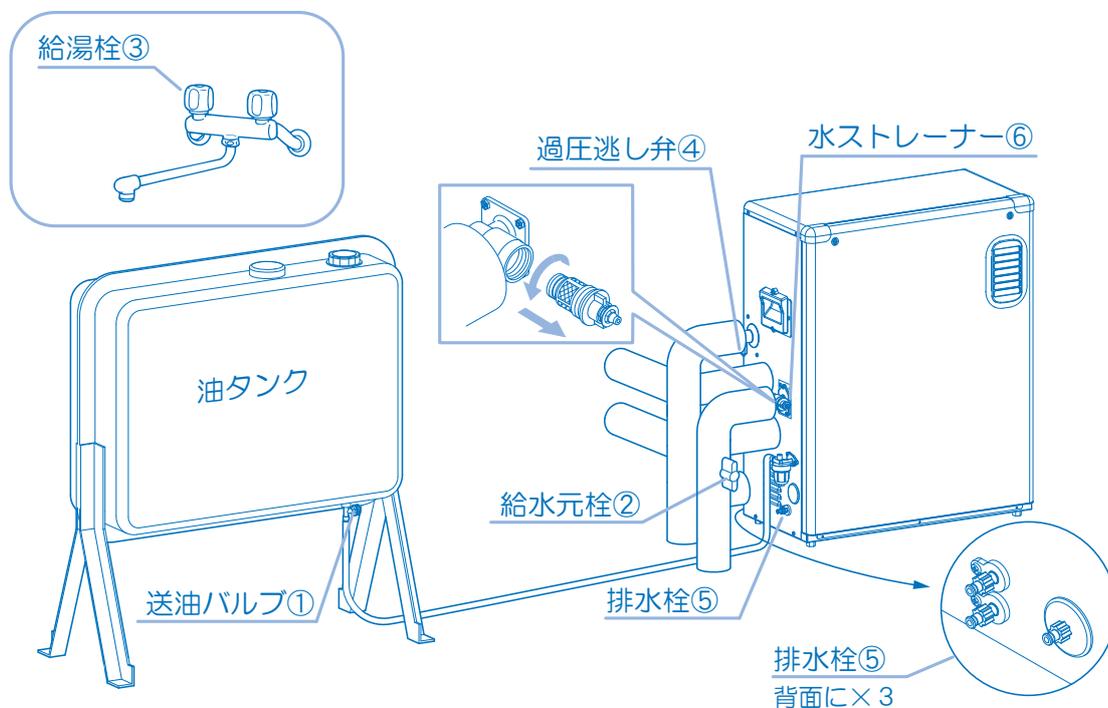


水抜きによる方法

機器の水抜きは、運転スイッチを切って、機器内部のお湯が冷えてから行なってください。

- (1) 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (2) 送油バルブ①を閉めてください。
- (3) 給水元栓②を閉めてください。
- (4) すべての給湯栓③を開けてください。
- (5) 出湯口の過圧逃し弁④、排水栓⑤（側面と背面にあります）をゆるめてください。
- (6) 給水口の水ストレーナー⑥を押し込み、排水できていることを確認して水ストレーナー⑥を左に回してはずしてください。

お願い 風呂配管内の水の凍結予防はできませんので、凍結しないよう断熱材で保温してください。



図は施工の1例です。
配管の形状などは実際と異なります。

使用上の注意

- 排気口は高温です。やけどに注意してください。
- 機器内や配管内にたまっていた水は飲用または調理に用いないでください。使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより水質が変わることがあります。
- 浴槽の循環口はタオルなどでふさがらないでください。
- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。
- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使用しないでください。水質によっては機器を腐食させる原因になります。
- 機器点火時にテレビ・ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがありますが、点火放電によるもので異常ではありません。テレビ・ラジオなどは機器から3m以上離し、コンセントを別回路にすると、ノイズ（雑音）を減少させることができます。
- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。雷が発生したときは、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 冬期など浴室・脱衣所と居室の温度差が大きいときは、入浴時に暖房機器で浴室と脱衣所を暖めるなどしてください。急激な温度変化による身体への悪影響（ヒートショック）によって、入浴時の事故につながるおそれがあります。

長期間使用しないとき

長期間運転を休止する場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、熱交換器、循環ポンプ及び配管内の水を完全に抜いてください。

また、油タンクの送油バルブも閉めてください。

安全装置

安全装置が作動した場合、原因を取り除いたあと、運転スイッチを入れなおしてください。

●対震自動消火装置（感震器）

運転中に機器が強い振動や衝撃を受けたとき、火災などの危険を防ぐために運転を停止します。

●燃焼制御装置（炎検出器）

燃料切れなどの点火不良や、燃焼中に消火したとき、炎検出器が異常を感知して運転を停止します。

●停電安全装置

停電になると自動的に消火します。再通電した後、自動で復帰します。

●温度ヒューズ（185℃）

空だきなどにより機器内の温度が異常に上昇したとき、運転を停止します。電源プラグを抜いてから原因を取り除き、温度ヒューズを交換してください。

その他の装置

●ハイカット

温度検出器の故障で異常過熱したとき燃焼を停止します。機器が十分冷えてから異常がないか確認し、運転スイッチを入れなおしてください。

●熱交ハイリミット

温度制御装置（回路）の故障により熱交換器内部の湯の温度が異常に上昇した場合、運転を停止します。

●過圧逃し弁

熱交換器内の圧力が異常に上昇したときに弁が開き、湯を外部に逃がします。圧力が正常になれば弁が閉じます。

日常の点検、手入れ

■ 点検、手入れのときの注意



- 点検、手入れを行なう前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 点検、手入れの際、次のことは絶対に行なわないでください。
 - ・ 対震自動消火装置（感震器）の取りはずし及び分解
 - ・ 温度センサーの取りはずし
 - ・ 電磁ポンプの圧力調節

■ 点検、手入れの必要項目、時期、手法

● 周囲の可燃物（日常、常に点検）

燃えやすいものが落ちたり、ふれたりするおそれがないことを確認してください。火災の危険がありますので周りに可燃物を置かないでください。

● ほこり（日常、常に点検）

機器の内部にたまったほこりや汚れにより、思わぬ事故になる場合があります。掃除をしてください。

● 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常、常に点検）

日常、油漏れや油のたまり、油のにじみがあるかどうかを調べるよう習慣づけ、給油のときにこぼれた灯油はよくふき取ってください。万一油漏れによって油のたまり、油のにじみが生じているときは、運転を停止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

● 送油管の点検（日常、常に点検）

送油管から油漏れがないか点検し、油漏れがあれば運転を停止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

● ゴム製送油管の点検（交換の目安、2～3年に1度）

ゴム製送油管が劣化してひび割れていないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認してください。ひび割れていたら交換してください。

● 油タンク内の水（給油時に点検）

油タンクに水やゴミがたまっているようであれば、取り除いてください。

●オイルストレーナー（3か月に1回）

オイルストレーナーに水、ゴミなどがたまり、電磁ポンプから振動音が出たり、点火不良や燃焼不良をおこすことがあります。3か月に1回、オイルストレーナーの掃除をしてください。

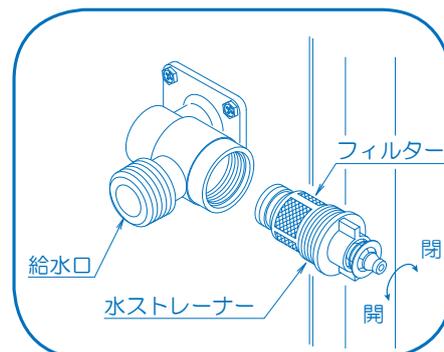


●水漏れ（日常、常に点検）

熱交換器・配管などから水漏れがないことを確認してください。水漏れがあればお買い上げの販売店にご連絡ください。

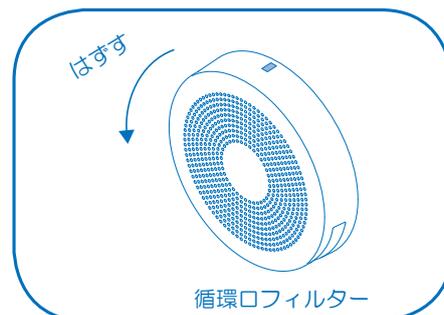
●水ストレーナーの掃除（1か月に1回以上）

給水口の水ストレーナーにゴミがつまると給湯栓からお湯の出る量が少なくなります。給水元栓を閉めて排水した後、水ストレーナーをはずして掃除してください。



●浴槽の循環口フィルター（日常、常に点検）

循環口フィルターを左に回してはずし、湯あかやゴミを取り除いてください。



●接地（日常、常に点検）



機器にアース線が確実に接続されているか確認してください。

定期点検

●定期点検に関する注意

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。1年に1回程度、お買い上げ店、または修理資格者〔（一財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行なう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる販売店などに点検依頼されることをおすすめします。

法定点検

▼本製品は、『消費生活用製品安全法（消安法）』の 長期使用製品安全点検制度で指定される特定保守製品です。

特定保守製品とは

…「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況などからみて、その適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品のことで。

■ 点検期間になりましたら点検を受けてください

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品毎に設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者に責務として求められます（消安法第32条の14）。本製品に表示している法定点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください（点検は有料となります）。

なお、点検後も本製品のご使用を継続される場合には、任意の定期点検（有料）をこまめ（1～2年ごと）に受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。

※法定点検は、その時点での点検基準に適合しているかの確認であり、その後の安全を保証するものではありません。

■ 所有者登録（必ず登録してください）

特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者が法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項及び第2項）。製品に同梱している「所有者票」に記入・投函していただくことにより登録となります。確実に「所有者票」に記入・投函をしてください。登録をされないと点検通知が届きません。

ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法及び当社規定による適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコールなど製品の安全に関するお知らせ以外には使用いたしません。

所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められます（消安法第32条の8第2項）。引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、「所有者票」に記載している問合せ連絡先にご連絡ください。

ご連絡をいただけない場合、法定点検やリコールなどの製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

■ 所有者票記入例

所有者票は片面が黄色で片面が白く、はがきを縦に2枚並べた大きさの紙です。

お客様記入欄に記入後、ミシン目で切り離して投函してください。

残り半分はお客様の控えです。取扱説明書と一緒に保管してください。

お客様 記入欄		返信用
<p>もれなくご記入の上、『個人情報保護シール』を貼付位置ガイドに合わせて貼付して投函してください。</p> <p style="text-align: right;">貼付位置ガイド→</p> <p>※所有者情報は個人情報保護法及び消安法に基づき管理し、法定点検、リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。</p> <p>※賃貸物件の場合は、所有者に代わり、管理会社の連絡先の記入でも可。</p>		
フリガナ	コウサン	タロウ
所有者の氏名	(姓) 工産 (管理会社名)	(名) 太郎 様
所有者の住所	〒 752-0977 山口 都・道 府・県 下関 市 長府東侍町1-5 アパート・マンション名 号室 電話番号 083-245-5441	
製品の設置場所	〒 □□□-□□□□ 都・道 府・県 市	
所有者の住所と違う場合はご記入ください。	アパート・マンション名 号室	
<p>[アンケート] この製品の引渡し時に本制度について事業者から説明を受けましたか? <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>※この所有者票の記入者 <input checked="" type="checkbox"/>お客様 <input type="checkbox"/>代行者(業者)</p>		

所有者または、管理会社のお名前、ご住所、電話番号を記入してください。

所有者の住所と違う場所に給湯機を設置している場合は、この欄に設置している住所を記入してください。

特定保守製品についての説明を受けていたら「はい」に、受けていない場合は「いいえ」にチェックをしてください。

お客様が記入された場合は「お客様」にチェックをしてください。

■ 法定点検の通知

所有者登録をいただいた方に、点検期間開始前に点検を通知いたします（消安法第 32 条の 12）。

法定点検の期間は、製品本体への表示、または製品に同梱している「所有者票（お客様控え）」をご覧ください。

■ 法定点検の実施

法定点検は、長府工産または長府工産が委託した事業者が行います。

法定点検の内容は、特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。点検基準は消安法省令により、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。

点検を行いましたら、点検結果表にて点検結果をお知らせいたします。

点検の結果、不適合となった場合には、可能な限りの選択肢をお知らせしますが、整備（修理を含む）をして使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。

■ 法定点検の料金

点検費用は、お客様にご負担いただきます。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。なお、点検料金の設定の基準は、下記のアドレスからご覧いただけます。

<https://chofukosan.com/>

具体的な点検料金につきましては、次ページの「■点検を行う事業所の配置／▼ お問い合わせ先」にてご確認いただけます。

■ 任意の定期点検

製品を安心して長くご使用いただくために、法定点検の他に定期的な点検（有料）をお奨めします。定期点検（有料）に関する項目をご参照ください。

■ 設計標準使用期間

本製品は、設計標準使用期間を 10 年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです（消安法第32条の3）。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください。（無料修理保証期間につきましては無料修理保証書をご参照ください）

●算定の根拠

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- ・始 期＝製造年月
- ・終 期＝JIS S 2072 に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験などを行い、その結果算出された数値などに基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

注 意：使用頻度、使用環境、設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または業務用など、本来の目的以外の方法で使用された場合は、記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、下記の「お問い合わせ先」にご連絡ください。

標準的な使用条件（給湯）		
項 目	条 件	
家 族 構 成	4人世帯	
用 途	台所、洗面、シャワー、湯はり	
使用環境	気温／湿度	20℃／65%
	季 節	中間期（春、秋）
使用条件	給水温度	15℃
	出湯温度	40℃
使用頻度	1日使用量	456 L
	1日使用時間	1時間
	1年使用日数	365日

標準的な使用条件（ふろ）		
項 目	条 件	
家 族 構 成	4人世帯	
用 途	ふろの沸かし上げ、ふろの追いだき	
使用環境	気温／湿度	20℃／65%
	季 節	中間期（春、秋）
使用条件	給水温度	15℃
	沸き上がり温度	40℃
使用頻度	入浴回数	毎日
	沸き上がり回数	1日1回
	追いだき回数	1日3回
	浴槽水量	180 L

■ 点検を行う事業所の配置

- ▼ お問い合わせ先 ：お客様窓口 / フリーダイヤル 0120-495-441
- ▼ 受 付 時 間 ：平日9:00～17:00（日・祝・盆・年末年始を除く）
- ▼ 事 業 所 ：各地区の点検などに関する連絡は、裏表紙に記載の事業所、及び全国にあるサービス代行店で対応致します。また、下記アドレスからもご覧いただけます。インターネットでご確認できない場合は弊社までご連絡ください。
<https://chofukosan.com/>

■ 法定点検の結果、必要と見込まれる整備用部品の保有期間

整備用部品の保有期間

- 点火・消火装置に関する部品……………製造打切後 13 年
(点火プラグ・イグナイターなど)
- 安全装置に関する部品……………製造打切後 13 年
(感震器・ハイカット・温度検出器・炎検出器など)
- 水・湯の通路に関する部品……………製造打切後 13 年
(Oリングなど)

■ 補修部品供給期間

補修部品（整備用部品含む）の供給期間は製品の製造年より 13 年間です。

■ 本製品の日常的に行うべき点検・お手入れ

製品を安全にご使用いただくために、月に 1 回程度は、お客様で日常的に点検やお手入れをしてください。

点検お手入れ前のご注意

- 運転スイッチを「切」にするか、電源プラグを抜いてください。
- 製品の使用直後は製品や製品内のお湯が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから点検・お手入れをしてください。

点検・お手入れの内容

- 日常の点検・お手入れに関する項目及び、安全上の注意に関する項目をご参照ください。

※次のような症状があれば経年劣化の兆候と考えられますので、「点検を行う事業所の配置／お問い合わせ先」や、裏表紙に記載の事業所までご連絡ください。

- ▼ 運転中に機器から異常音が聞こえる
- ▼ 機器外観に異常な変色や傷がある
- ▼ 機器・配管から水漏れがある
- ▼ 排気口・排気トップ部にススがついている

故障・異常の見分け方と処置方法

故障や異常を感じたときは使用をやめて、修理を依頼される前に次表により原因を調べて処置をしてください。原因のわからないときは、そのままにしてお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

現象	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない	停電している。	再通電するのを待ちください。
	電源プラグが抜けている。	電源プラグを差してください。
	制御基板のヒューズが溶断している。	お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
制御基板の故障。		
給湯栓を開いてもお湯が出ない	断水している。	復旧するのを待ちください。
	凍結している。	水道管の水が溶けるまで待ちください。
	お湯の使用量が少ない。	給湯量を増やしてください。 (1分間に3リットル以上)
給湯温度が変更できない	「優先」になっていない。	「優先」にしてください。(P15 参照)
	ふろの動作中。	ふろの動作終了まで待ちください。
給湯温度または、ふろ温度を上げられない	最高温度が低く設定されている。	最高温度の設定を上げてください。 (P22 参照)
操作を受け付けない	チャイルドロックがかかっている。	チャイルドロックを解除してください。 (P31 参照)
	停電から復帰後、または電源を抜いた後に初めて使用する。	最初に2L通水してください。
運転中に停止する	油切れまたは送油バルブが閉じている。	給油してください。 送油バルブを開いてください。
	送油経路の空気抜きが不十分。	空気抜きをしてください。
	オイルストレーナーのゴミづまり。	ゴミを取り除いてください。
	油タンクに水がたまっている。	タンクの水を抜いてください。
給湯温度が低い	温度調節が低い。	温度調節を高くしてください。
給湯量が少ない	エコスイッチが入っている。	エコスイッチを切ってください。
途中で水になる	油切れ。	給油してください。
「OIL」が表示される ※	油が少なくなっている。	
ふろが沸かない、 または沸きが遅い	給湯栓が開いている。	すべての給湯栓を閉めてください。
	循環口フィルターのつまり。	掃除をしてください。
	すでにふろが沸きあがっている。	ふろ温度を上げてください。
	ふろ配管経路からの放熱。	お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
排気口からすすが出る	\	ただちに使用を中止し、次の手順にしたがってください。 1. 給湯栓を閉める 2. 運転スイッチを「切」にする 3. 送油バルブ・給水元栓を閉める 4. お買い上げの販売店または弊社に連絡する
燃焼ガスの臭いがきつい		
油漏れしている		
水漏れしている		
異常な燃焼音がある		
エラー表示が出る		

※減油感知器を取り付けている場合

■モニター表示による処置方法

リモコンのエラー表示の内容により、故障原因を判断することができます。お買い上げの販売店または弊社まで連絡していただく場合はエラー表示の内容もお知らせください。

エラー番号	故障内容	処置方法
002	初期残水異常	浴槽を空にした後に排水栓をして、再度ふろ運転をしてください。
032	排水栓忘れ	浴槽の排水栓を確認して、再度ふろ運転をしてください。
100	電源周波数の異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
101	電源電圧の異常	
110	着火不良、不着火	運転スイッチを入れなおしてください。 繰り返し表示される場合はお買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
120	途中失火、油切れ	給油して運転スイッチを入れなおしてください。
140	温度ヒューズの断線	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
141	熱交ハイリミットの作動	
151	ハイカットの作動	時間をおいて運転スイッチを入れなおしてください。繰り返し表示される時や解除できない場合はお買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
162	ふろ温度の高温異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
163	給湯出力異常	
220	対震自動消火装置（感震器）の作動	機器に異常がなければ運転スイッチを入れなおしてください。
252	水流スイッチの異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
310	外気温サーミスタの異常	
311	出湯サーミスタの異常	
320	出湯温度の高温異常	
321	給水サーミスタの異常	
322	ふろサーミスタの異常	
331	熱交出口サーミスタの異常	
340	油温サーミスタの異常	
342	過熱防止サーミスタの異常	
343	油温異常	
411	給水フローセンサーの異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
412	湯はりフローセンサーの異常	
421	漏水検知異常	給湯栓からの出水または、浴槽から水があふれていないか確認してください。
450	送風機の異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
460	ダンパモーターの異常	
632	ふろの循環異常	浴槽の循環口の上までお湯があるかを確認して運転スイッチを入れなおしてください。
650	水量制限弁の異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
651		
660	水比例弁の異常	
661		
710	基板回路の異常	
711		
714		

エラー番号	故障内容	処置方法
715	基板回路の異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
716		
717		
718		
719		
720		
740	基板回路の異常	
750	機種設定適合異常	
760	リモコン通信異常	
761	リモコン適合異常	
888	法定点検時期のお知らせ ※ (タイムスタンプ)	法定点検時期です。お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。

※：機器の使用開始から10年経過するとリモコンに「888」を表示して法定点検時期をお知らせします。故障ではありませんのでご使用できますが、今後安全にご使用していただくためにお買い上げの販売店または弊社にご連絡していただき、法定点検（有償）を受けることをおすすめします。点検後は3年ごとに「888」を表示して点検時期をお知らせします。

■ 次のような場合は故障ではありません

湯が白く濁って見える	水中に溶けていた空気が細かい泡となって白く見えるためではありません。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。 停電復帰後、または電源を抜いた後に初めて使用する時は、最初に2Lほど通水する必要があります。
排気口から白い湯気が出る	排気ガスに含まれる水蒸気が外気に触れて白い湯気に見えますが、異常ではありません。

部品交換のしかた

部品交換が必要なときは、お買い上げになった販売店にご連絡ください。

■ 修理は（一財）日本石油燃焼機器保守協会で行なう技術管理講習会修了者〔石油機器技術管理士〕の修理をお受けください。

仕 様

型 式	CKX-EN482SAF	
型 式 の 呼 び	CKX-EN48	
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式
	給 排 気 方 式	屋外用開放形
	給 水 方 式	水道直結式
	加 熱 方 式	2缶2水路式
	加 熱 形 態	瞬間形
循 環 方 式	強制循環式	
点 火 方 式	高圧放電式	
使 用 燃 料	灯油 (J I S 1号灯油)	
燃 料 消 費 量	給湯側 : 53.5 kW (5.2 L /h)、ふろ側 : 16.5 kW (1.6 L /h)	
湯 沸 効 率	75.0%	
連 続 給 湯 効 率	86.0%	
連 続 給 湯 出 力	46.5 kW (40,000kcal/h)	
熱 交 換 器 容 量	給湯側 : 0.9 L、ふろ側 : 0.9 L	
最 高 使 用 圧 力	1.0 MPa	
伝 熱 面 積	給湯側 : 0.72 m ² 、ふろ側 : 0.72 m ²	
外 形 寸 法	高さ 743 mm×幅 581 mm×奥行 295 mm	
質 量	41.5kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC 100 V 50/60Hz	
定 格 給 湯 使 用 消 費 電 力	給湯側	点火時 69/68 W 燃烧時 102/101 W
	給湯・ふろ同時使用	点火時 150/175 W 燃烧時 181/205 W
待 機 時 消 費 電 力	3.5 W	
排 気 温 度	260℃以下	
騒 音 レ ベ ル	52 dB (A)	
ノズル	噴 霧 量	1.4 GPH
	スプレーパターン	エバーロイ社のホロコーン
	噴 霧 角 度	71度
循 環 管 取 付 口 径	R1/2	
基 準 浴 槽	有効水量 200～300 L	
電 流 ヒ ュ ー ズ	10 A	
温 度 ヒ ュ ー ズ	185℃	
安 全 装 置	対震自動消火装置 (感震器)、燃烧制御装置 (炎検出器)、停電安全装置、空だき防止装置 (ふろ)	
そ の 他 の 装 置	ハイカット、熱交ハイリミット、過圧逃し弁、凍結予防ヒーター	
付 属 品	アース線 (1)、メインリモコン (1)、メインリモコンコード (1)、ふろリモコン (1)、ふろリモコンコード (1)、Y端子 (4)、取扱説明書 (1)、工事説明書 (1)、所有者票 (1)、転倒防止金具セット (1)	

■ 音声一覧表

リモコン操作または機器の動作	音声
給湯温度を 55℃以上にする	熱いお湯が出ます
リモコンの優先を切り替えて、給湯温度が 55℃以上になるとき	
給湯温度を変更したとき	給湯温度が〇〇℃に変更されました
リモコンの優先を切り替えて、給湯温度が変わったとき	
ふろ温度を変更したとき（ふろリモコンのみ）	ふろ温度が〇〇℃に変更されました
ふろ自動を開始するとき	お湯はりをします
ふろ自動が終了したとき	♪ + おふろが沸きました
おいだきから保温運転になるとき（ふろ自動中をのぞく）	
おいだきをするとき（保温運転中をのぞく）	おいだきをします
おいだき時に浴槽に水がなかったとき	おふろの様子を調べてください
音量を変更する	（設定値によって） 大です 標準です 小です 音声を消します
チャイルドロックをONにする	設定しました
チャイルドロックをOFFにする	解除しました

♪はメロディを表しています

■ 初期設定値一覧表

項 目	初期設定値
給湯温度	40℃
ふろ温度	40℃
お湯はり量	180 L
保温時間	4 時間
運転スイッチ切り時の時計表示	ON
ふろ凍結予防運転	ON
たし湯後の保温運転	ON
音声ガイド	ON
最大湯はり量	300 L
給湯最高温度	60℃
ふろ最高温度	48℃
運転スイッチ切り忘れ防止機能	OFF
通話機能	ON
たし湯	30 L
さし水	10 L
音量	標準

アフターサービス

●修理について

ご使用中に異常が生じ、P47～49の「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置をしても、なおらない場合には、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。なお、ご連絡される時は、機器の型式名及びお買い上げ時期をお知らせください。

- ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、弊社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。

●保証書について

保証書は、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

保証書に設置日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。

万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたします。

この機器の保証期間は設置日から2年です。その他の詳細は保証書をご覧ください。

この取扱説明書やラベル類による指示、禁止、注意事項に反したご使用状態で万一事故が発生した場合、弊社は責任を負いかねます。

●補修部品供給期間について

補修部品の供給期間は、製品の製造年より13年間です。

据 付 け

■ 据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みにになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、工事説明書をお読みください。

■ 騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

■ 据付け工事後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みにになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。

■ 試 運 転

試運転は必ず販売店または据付業者と一緒に行なってください。

1. 運 転 準 備

(1) 給油及び送油経路の空気抜きと油漏れの確認

- 油タンクへの給油は油量計を見ながら行なってください。
- 送油経路内の空気抜きを行なってください。（詳しくはP10をお読みください）
- 送油経路に油漏れのないことを確認してください。

(2) 給水及び水漏れの確認

- 給水元栓を開いてください。
- 給湯栓を開き、水の出ることを確認してください。
- 配管経路からの水漏れのないことを確認してください。

(3) 電源プラグ差し込みの確認

- 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。
- 延長コードは使用しないでください。

2. 運 転

(1) 運転開始手順

〔給湯の確認〕

- リモコンの運転スイッチを「入」にする。
- 給湯栓を開いて、リモコンの給湯温度を変更し、湯温が変わることを確認する。（設置後に初めて使用するときは、最初に2 L程度通水しないと機器は作動しません）
- 給湯栓を閉めたあと、リモコンの運転スイッチを「切」にする。

〔ふろ自動の確認〕

- 浴槽を空にして排水栓をする。
- リモコンの運転スイッチを「入」にする。
- ふろ自動スイッチを「入」にし、ふろ自動運転をする。
- ふろ自動完了後、ふろ温度と湯量を確認する。（初期値はふろ温度が40℃、お湯はり量が180 Lです）
- おいだきスイッチ、たし湯スイッチ、さし水スイッチについても動作を確認する。
- 運転スイッチを「切」にする。

(2) 初期運転時の異常現象

電磁ポンプ内に空気を吸い込むと運転時に異常音を発し、正常に燃料を噴霧しません。このとき、空気抜きをしないと、数回の点火操作を必要とする場合があります。

（詳しくは10ページをお読みください）

また、機器の設置条件などにより、燃烧空気が不適正の場合は、異常発煙や振動燃烧を生ずることがあります。

(3) 正常運転のめやす

上記の初期運転時の異常現象がなく、排気口から黒煙など出ていないことを確認してください。

3. 消火の手順

運転スイッチを押して運転を停止します。

無料修理保証書

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間中に故障が発生した場合は、必ず本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社へご相談ください。

型 式 名	CKX-EN482SAF	保 証 期 間	設置日より ① 熱交換器は5年 ② ①を除く電装品・バーナーは2年 ※一般家庭以外に使用された場合は①②共に1年
保 証 対 象 分 部	機器本体（リモコン含む）	★ 設 置 日	年 月 日
★ お 客 様	ご 住 所		
	お 名 前	様 TEL ()	
★ 販 売 店	住 所 名	TEL ()	® または サイン

★印欄に記入のない場合は有効になりません。必ず記入してください。

<無料修理規定>

- ◆取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理致します。
- ◆保証期間内に故障して無料修理をご依頼の場合、お買上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ◆ご贈答品または引越しのために本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、弊社にご相談ください。
- ◆保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ▽使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - ▽設置後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送などによる故障及び損傷。
 - ▽火災、地震、風水害、落雷、塩害、凍結、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性などの有害ガス、ほこり、その他の天災地変、公害、異常気象、異常電圧、異常電磁波、異常水圧、設置環境などによる故障及び損傷。
 - ▽ねずみ、鳥、ヤモリ、くも、昆虫などの侵入による故障及び損傷。
 - ▽不適当な配管、配線、取付、組み立て、その他施工上の誤りによる故障及び損傷。
 - ▽給水、給湯配管の錆びなどの異物流入による故障及び損傷。
 - ▽システム及び周辺関連部品に起因する故障及び損傷。
 - ▽特殊な用途（例えば、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - ▽指定以外の燃料、不良燃料、（水やゴミ混入、変質）、使用電圧（電圧、周波数）による故障及び損傷。
 - ▽地下水など水道法基準に適合しない水質での使用による故障及び損傷。
 - ▽本書の提示がない場合。
 - ▽本書に設置日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは販売店の訂正印なしで、字句を書き換えられた場合。
- ◆本書は日本国内においてのみ有効です。
- ◆本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

長府工産株式会社

山口県下関市長府東侍町1番5号 〒752-0977 TEL (083) 245 - 5441 (代)

 <p>愛情点検</p>	長年ご使用の石油給湯機の点検を！	
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水漏れがする ●油漏れがする ●煙が出たり、強い臭いがする ●運転中に異常な音や振動がする ●その他の異常や故障がある 	<p>→</p> <p>このような症状の場合は使用を中止し、故障や事故防止のため、運転スイッチを「切」にし、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。</p>

便利メモ

型 式		設置日	年	月	日
販売店名	電話番号 ()				

快適生活の新しい価値を創造する

長府工産株式会社

- 本 社 〒752-0977 山口県下関市長府東侍町 1-5
TEL : 083-245-5441(代) FAX : 083-245-9644
- 大 阪 支 社 〒567-0031 大阪府茨木市春日 3-14-17
TEL : 072-625-5338(代) FAX : 072-625-5742
- 東 北 支 店 〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東 6-7-47
TEL : 022-391-1215(代) FAX : 022-391-1565
- 横 浜 支 店 〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場町 872-13
TEL : 045-989-5885(代) FAX : 045-989-5886
- 関 東 営 業 所 TEL : 0285-39-8801 FAX : 0285-39-8802
- 名 古 屋 営 業 所 TEL : 052-800-5553 FAX : 052-800-5563
- 沖 縄 営 業 所 TEL : 098-874-2397 FAX : 098-874-2819